

セレブリティ・ミレニアムによる日本一周クルーズ(その2)

事務局長 池田良穂

最初に、前回のレポートの訂正です。写真の説明に「今回の改装で新設された寿司・アジア料理の「スシ・オン・ファイブ」とありますが、同レストランは以前からあるもので「今回の改装で内装が一新した」というのは間違いでした。ご指摘をいただいた寺井会員に御礼いたします。

3日目 船が到着したのは、広島中心市街地と宇品の中間に位置する五日市の岸壁で、いつもは車両の積出港として使われているが、クルーズとの兼用となっていてクルーズターミナル施設もできている。この施設は箱型の倉庫風の建物で、半分がイミグレ等に使われ、残りの半分が土産物販売や休憩スペースとして使われており、WiFiが完備されていることもあってたくさんの乗組員が国の家族との連絡をするのに使っている。

船が着岸すると、すぐに下船することができた。クルーズ船の入管手続きが非常にシンプルになってありがたい。この日は、会員の有志と共にタクシーで宇品の旅客船ターミナルまで行き、呉行のフェリー「旭洋丸」に乗船した。この船は10月には同名の新造船と代替されることになっているので、たぶん最後の乗船となる。呉で下船して1時間半ほど待って、松山からやってきた瀬戸内海汽船の新造フェリー「シー・パセオ」に乗船した。なかなか素晴らしい内装の船で、呉と宇品間のわずか40分の船旅ではもったいない。次は松山と宇品間の全航路の船旅を楽しみたいと思った。

一度、船に戻ってから無料アクセスバスで五日町駅まで行き、広電で宮島口に向かった。宮島航路には、JR西日本宮島フェリーの運航するフェリー群と、松大汽船の運航するフェリー群があり、航海時間はわずか10分。頻繁に運航されているので、短時間でほとんどのフェリーの見ることもできた。

広島出港前に、学会として第2回目のミーティングを開催した。約1時間で、参加者一人ずつから、約5分間で自由に話してもらう企画で、古いクルーズ体験から最近のクルーズ、フェリーの船旅まで、多彩な話が披露された。

定刻の17時より少し前に、「セレブリティ・ミレニアム」は岸壁を離れた。次の寄港地は北九州のひびきコンテナターミナルだが、朝に関門海峡通過がイベントとして組み込まれているので、時間があすぎる。船は南に向かって6ノットでゆっくりと航海した。以前乗船した同様のクルーズでは、豊後水道を南下して公海にでてカジノをオープンし、免税品の販売をした船もあったが、今回は瀬戸内海の中をゆっくりと航海して夜を過ごし、カジノもオープンしなかった。



広島港の客船ターミナル。簡単な構造だが、機能的な施設です。



後方から高速船「瀬戸」と「瑞光」が近づいてきて、追い越していきました。



広島宇品港から乗船した「旭洋丸」。宇品から呉まで約40分の航海でした。



瀬戸内海汽船の高速船「道後」と反航しました。



港内には劇場船「STU48号」が停泊していました。



呉のJMU造船所では巨大なタンカーが2隻艀装中でした。



宇品の棧橋をでると大型のPCCが停泊していました。マツダの車を積み出すためです。



くじら博物館では、顔写真が撮影できました。



呉港に「シー・パセオ」が入港してきました。



船首側に見晴らしの良い座席がありました。



「シー・パセオ」の船内です。詳しくは会誌で紹介いたします。



宮島口で、宮島航路のフェリーのシップウォッチングを楽しみました。



夜のショーは女性バイオリニストの独演会でした。

4日目 朝起きると、船は関門海峡に向かってゆっくりとした速度で北上していた。阪九フェリーが追い抜いて行ったり、潜水艦と遭遇したり、たくさんの船と反航しながら関門海峡

へと進んでいく。海峡入り口の電光掲示板には「西向き 2 ノット」と潮流の向きと速さが表示されていた。

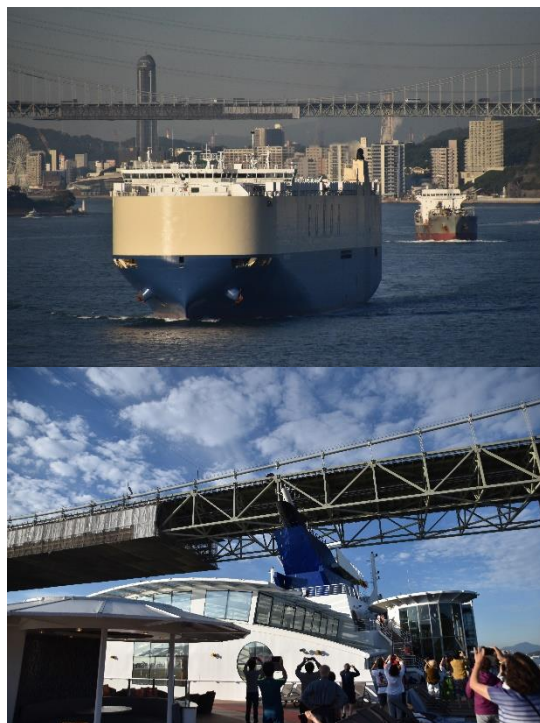
7時過ぎに関門海峡橋の下を通過して、右手に下関、左手に門司の町が見える。下関港に停泊する「はまゆう」、三菱下関で艀装中の阪九フェリーの「せつつ」の姿を見ることができた。また中国航路の RORO 貨物船「ユートピア」と反航した。

ひびきコンテナターミナルには定刻の 10 時少し前に着岸。岸壁にはテントが張られて、お土産や食べ物の出店もたくさんでいた。このターミナルは市街地からはかなり離れていて、小倉の中心街まで無料のアクセスバスがでていたが、長蛇の列となっており炎天下で 30 分以上の待ち時間となっていた。

そこでタクシーで、運転手のお薦めの近くの寿司屋に連れて行ってもらい、昼食を楽しんだ。

16 時半から会議室で研修クルーズの 3 回目のミーティングを開催した。赤井先生の率いる港湾関係者のクルーズ視察グループとの共同イベントで、筆者が「セレブリティ・クルーズ/ロイヤル・カリビアン」の歴史」を講演した。

「セレブリティ・ミレニアム」の出港は夜 10 時で、次の寄港地が釜山のため出国審査が行われた。ただ審査はパスポートのコピーを提出して、船に預けていたパスポートを船側から受け取るだけで終わり、対面審査は行われなかった。



関門橋の手前でたくさんの船と反航しました。



三菱造船の下関工場で艤装中の阪九フェリーの「せつつ」の姿が見えました。



中国航路の新鋭 RORO 貨物船 UTOPIA と反航しました。



第3回目のミーティング風景です。



夜のプールデッキ。